

令和

6

年度

年間授業計画

教科

外国語

科目

論理・表現Ⅰ

教科：外国語

科目：論理・表現Ⅰ

単位数：2

単位

対象学年組：第1学年

教科担当者：1組 宮﨑・工藤雅 2組 工藤晋・村井 3組 宮﨑・村井 4組 工藤晋・石黒 5組 宮﨑・山下 6組 工藤晋・山下

使用教科書：教科書：Crown Logic and ExpressionⅠ（三省堂）
副教材：教科書準拠サブノート（三省堂）・CORPUS CROWN総合英語（三省堂）

教科	外国語	の目標：
【知識及び技能】	英語の音声や図表、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。	
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切に英語で表現したり伝え合う力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。	

科目	論理・表現Ⅰ	の目標：	
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	英語の特徴やきまりを理解するとともに、それらと言語活動とを効果的に関連付け、科学技術者に必要な英語でのコミュニケーション力を身につける。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて情報を整理しながら論理的な英語で表現する、将来科学者として必要な力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で表現し、科学技術者として論理的に表現したり考えを伝えあう態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	単元 1 Lesson 1 Orihime	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	時制の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、話しかけたり、例を挙げたりする言語の働きを学ぶ。	【時制】話しかける、例をあげる表現						①さまざまな時制を用いた文の構造を理解している。 ②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	新しい分野を切り開いた人生や生き方について学んだことを基に、自分の夢について効果的なスピーチをする力を養う。	教科書、副教材等						新しい分野を切り開いた人生や生き方について学んだことを活用して、自分の夢についてスピーチを効果的に行っている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材						【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説								○	○		2
	単元 2 Lesson 2 Breakfast Makes Perfect	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	助動詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、出典を示して説明したり、締めくくったりする言語の働きを学ぶ。	【助動詞】出典を示す、説明する表現						①助動詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	食生活と健康について学んだことを基に、理想の食生活について効果的なプレゼンテーションをする力を養う。	教科書、副教材等						食生活と健康について学んだことを活用して、理想の食生活についてプレゼンテーションを効果的に行っている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PowerPoint 発表						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元 3 Lesson 3 Cool Japan	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	受動態の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、説明したり薦めたりする言語の働きを学ぶ。	【受動態】説明する、薦める表現						①受動態を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	日本文化について学んだことを基に、日本文化の魅力について意見を効果的に書く力を養う。	教科書、副教材等						日本文化について学んだことを活用して、日本文化の魅力について意見を効果的に書いている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				

令和6年度年間授業計画教科外国語科目論理・表現Ⅰ

教科：外国語科目：論理・表現Ⅰ単位数：2単位

対象学年組：第1学年

教科担当者：	1組 宮嵜・工藤雅	2組 工藤晋・村井	3組 宮嵜・村井	4組 工藤晋・石黒	5組 宮嵜・山下	6組 工藤晋・山下
使用教科書：	教科書：Crown Logic and Expression I（三省堂） 副教材：教科書準拠サブノート（三省堂）・CORPUS CROWN総合英語（三省堂）					

教科外国語の目標：

【知識及び技能】	英語の音声や図表、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切に英語で表現したり伝え合う力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目論理・表現Ⅰの目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりを理解するとともに、それらと言語活動とを効果的に関連付け、科学技術者に必要な英語でのコミュニケーション力を身につける。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて情報を整理しながら論理的な英語で表現する、将来科学者として必要な力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で表現し、科学技術者として論理的に表現したり考えを伝えあう態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説								○	○		2

令和	6	年度	年間授業計画	教科	外国語	科目	論理・表現Ⅰ					
教科:	外国語		科目:	論理・表現Ⅰ		単位数:	2	単位				
対象学年組: 第 1 学年												
教科担当者:	1組	宮 峯・工藤雅	2組	工藤晋・村井	3組	宮 峯・村井	4組	工藤晋・石黒	5組	宮 峯・山下	6組	工藤晋・山下
使用教科書:	教科書: Crown Logic and ExpressionⅠ (三省堂)											
	副教材: 教科書準拠サブノート (三省堂)・CORPUS CROWN総合英語 (三省堂)											

教科	外国語	の目標：
【知識及び技能】	英語の音声や読書、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。	
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切に英語で表現したり伝え合う力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。	

科目	論理・表現Ⅰ	の目標：	
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	英語の特徴やきまりを理解するとともに、それらと言語活動とを効果的に関連付け、科学技術者に必要な英語でのコミュニケーション力を身につける。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて情報を整理しながら論理的な英語で表現する、将来科学者として必要な力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で表現し、科学技術者として論理的に表現したり考えを伝えあう態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
2 学 期	単元 4 Lesson 4 Save Our Planet	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	不定詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、問題点を伝え、意見を求め、さらに意見を伝える言語の働きを学ぶ。	【不定詞】提案・勧誘する、意見を求める、意見を述べる方法						①不定詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	環境問題について学んだことを基に、環境問題の解決策について効果的にディスカッションする力を養う。	教科書、副教材等						環境問題について学んだことを活用して、環境問題の解決策について効果的にディスカッションをしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元 5 Lesson 5 Volunteer Work for What?	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	動名詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、相手の意見を確認し、反論し、主張と理由を述べる言語の働きを学ぶ。	【動名詞】相手の意図を確認する、主張と理由を述べる方法						①動名詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	ボランティアについて学んだことを基に、高校生のボランティア活動について効果的にディベートする力を養う。	教科書、副教材等						ボランティアについて学んだことを活用して、高校生のボランティア活動について効果的にディベートしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説								○	○		2
	単元 6 Lesson 6 Another Life I Might Have Had	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	分詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、同意・共感する、問いかける、理由を述べる等の言語の働きを学ぶ。	【分詞】同意。共感する、理由を述べる表現						①分詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	文学・読書について学んだことを基に、ブックレビューを効果的に発表する力を養う。	教科書、副教材等						文学・読書について学んだことを活用して、ブックレビューを効果的に発表している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元 7 Lesson 7 What Is Our Greatest Invention?	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	比較の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、話題を導入し、推量し、意見や理由を述べる言語の働きを学ぶ。	【比較】推量する、意見や理由を述べる方法						①比較を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	サイエンス・発明について学んだことを基に、人類最大の発明について効果的にプレゼンテーションをする力を養う。	教科書、副教材等						サイエンス・発明について学んだことを活用して、人類最大の発明について効果的にプレゼンテーションをしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説								○	○		2

令和6年度年間授業計画教科外国語科目論理・表現Ⅰ

教科：外国語科目：論理・表現Ⅰ単位数：2単位

対象学年組：第1学年

教科担当者：	1組 宮寄・工藤雅	2組 工藤晋・村井	3組 宮寄・村井	4組 工藤晋・石黒	5組 宮寄・山下	6組 工藤晋・山下
使用教科書：	教科書：Crown Logic and Expression Ⅰ（三省堂） 副教材：教科書準拠サブノート（三省堂）・CORPUS CROWN総合英語（三省堂）					

教科外国語の目標：

【知識及び技能】	英語の音声や図表、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切に英語で表現したり伝え合う力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目論理・表現Ⅰの目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やよきまりを理解するとともに、それらと言語活動とを効果的に関連付け、科学技術者に必要な英語でのコミュニケーション力を身につける。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて情報を整理しながら論理的な英語で表現する、将来科学者として必要な力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で表現し、科学技術者として論理的に表現したり考えを伝えあう態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
3 学 期	単元8 Lesson 8 Discover Japan	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	関係詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、話題を導入し、相づちを打ち、説明する言語の働きを学ぶ。	【関係詞】話題を導入し、説明する方法						①関係詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	世界遺産について学んだことを基に、日本の紹介記事を効果的に書く力を養う。	教科書、副教材等						世界遺産について学んだことを活用して、日本の紹介記事を効果的に書いている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元9 Lesson 9 Urban Life or Rural Life	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	仮定法の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、対比・逆説を表したり、感動を表したりする言語の働きを学ぶ。	【仮定法】対比、逆説を表したりする方法	○	○	○	○	○	①仮定法を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力】	・教材						【思考力・判断力・表現力】				
	交通・地域について学んだことを基に、都会に住むか田舎に住むかについて効果的にディスカッションする力を養う。	教科書、副教材等						交通・地域について学んだことを活用して、都会に住むか田舎に住むかについて効果的にディスカッションしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元10 Lesson 10 Music without a Pianist	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	接続詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、伝聞を伝える、反論する等の言語の働きを学ぶ。	【接続詞】伝聞を伝える、反論する方法	○	○	○	○	○	①接続詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力】	・教材						【思考力・判断力・表現力】				
	芸術、テクノロジーについて学んだことを基に、科学技術について効果的にディベートする力を養う。	教科書、副教材等						芸術、テクノロジーについて学んだことを活用して、科学技術について効果的にディベートしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材						【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説								○	○		2